

学校の教育目標

たくましい子ども

・児童の実態

・社会の要請

- よく考え すすんで学ぶ子ども (知)
- 思いやりがあり 助け合う子ども (情)
- ねばり強く やりぬく子ども (意)
- じょうぶな体に きたえる子ども (体)

- ・児童の願い
- ・教師の願い
- ・保護者の願い

本年度の重点目標

思いやりの心と 強い体で がまん強く 学習にはげむ子
～見通しをもった主体的・対話的な学びを通して～

研究主題

自ら考え、対話的に学び合う子の育成
～学びの過程を重視した授業改善～

目指す子ども像のおさえ

「自ら考え」
「対話的に学び合う」

- ・自分の考えを伝える子
- ・友達の意見を聞き、考えを広げる子
- ・「わかった」「できた」を実感できる子

目指す授業像のおさえ

「学びの過程」とは

- ・子どもの実態に合わせた教材
- ・子どもの思考の流れを重視した展開
- ・自己の学びに気付かせる振り返り

研究仮説 1

主体的な学びに基づいた単元構成を工夫する段階で、身につけさせたい資質・能力と単元終末の子どもの姿を明確化することによって、進んで問題解決に向かうことができる。

研究仮説 2

対話的な学びを本時の授業展開に位置付けることを通し、多様な学習形態・指導方法の工夫を行うことによって、他と関わり合いながら、問題解決に向かうことができる。

研究内容 1

☆主体的な学び

- 単元構成の工夫
- ・身につけさせたい資質・能力
- ・単元のカリキュラムマネジメント
- ・自己の学びを振り返る評価

研究内容 2

☆対話的な学び

- 対話を生む授業展開
- ・論点の明確化
- ・思考を広げる対話
- ・確かな学びに向かう対話

学びの基盤

- 学習規律の確立
- 学び合う集団（努力する集団）
- 認め合う学級風土
- 落ち着いた教室環境